



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2021.8.19

教育委員会だより No.121

愛村心（1尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

学校運営協議会第1回学校訪問（牧本小・湯本小・湯本中）

7月6日（火）に学校運営協議会委員による学校訪問を実施しました。牧本小、湯本小、湯本中の3校を訪問し、学校経営の概要と課題の説明を聞き、授業の様子や学校施設の状況を確認しました。牧本小学校で給食を試食し、午後から協議会では、GIGAスクール構想や教職員住宅等について意見や感想、取組の実際などについて協議しました。天栄村の教育を地域が支えとなって学校とともによりよくしようという思いが感じられる協議会でした。次回は9月1日（水）に広戸小、大里小、天栄中の学校訪問を実施する予定です。



授業参観



給食試食

施設見学



協議会

村研修会

夏季休業中に、村主催の各種教育研修会を開催しました。7月29日（木）は、外国語教育研修会とICT教育研修会、8月3日（火）は、特別支援教育担当者研修会でした。各研修会において、講師の先生からは、大変分かりやすく、また2学期から実践することができる内容のお話をいただきました。

外国語教育研修会



特別支援教育研修会

コロナ感染拡大防止

8月8日（日）から31日（火）まで、いわき市では「まん延防止等重点措置」が適用され、その他の地域でも集中対策が求められています。

本村におきましても、「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準を「レベル2」とし、感染症対策を一層徹底していきます。具体的には、以下のとおりです。

- 感染リスクの高い学習活動（児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク及び近距離で一斉に大きな声で話す活動）の停止。
- 宿泊を伴う学校行事の停止。
- 部活動及び対外的な交流活動については、他校との練習試合や合同練習会の停止。



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル 天栄村種火起こし

8月24日から開催される東京2020パラリンピックの聖火は、「パラリンピック聖火はみんなのものであり、パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まってひとつの聖火を生み出す」という理念のもと、全国の自治体から集まった種火をひとつにして灯されます。

福島県では県内59市町村が独自の方法で起こした種火を集めて、「福島県の火」を作りました。

天栄村では、村内の小中学生が「共生社会の実現への想い」、「パラリンピック成功への想い」、「応援メッセージ」を種火に込める想いとしてメッセージカードを書き、「マイギリ式」による火起こしで種火を起こす方法で行いました。

8月11日(水)、天栄村屋内運動場を会場に、天栄村種火起こし式を行い、各学校の代表者がマイギリ式の火起こしに挑戦しました。一生懸命に想いを込めて起こした火はキャンドルに灯り、天栄中学校3年生の佐藤愛彩さんの手でキャンドルからランタンに火が移されました。

また、使用したキャンドルは天栄幼稚園の園児たちが手作りしたもので、今回の種火起こしはたくさんの子どもたちの想いが込められたものになりました。

